



神戸小だより

【学校教育目標】

きょう き 今日も来てよかった、
あした き おも がっこう
明日も来たいと思える学校

令和7年 11 月 4日 NO.13

R7全国学力・学習状況調査の結果について

へいきんせいとうりつ 平均正答率	こくご 国語	さんすう 算数	り か 理科
ほんこう 本校	64.0	57.0	55.0
ぜんこく こうりつ 全国（公立）	66.8	58.0	57.1
ぜんこく のさ 全国との差	-2.8	-1.0	-2.1

じどうしつもんし かいとう
児童質問紙の回答で、それぞ
れの教科を好きと答えた児童
の割合は国語が40%、算数が
51%、理科が74%でした。

こういていき かいとうわりあい ひょうじ
肯定的回答割合を表示（%）

	児童質問調査	自校	全国
主体的な学び	(32)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	69.1	80.3
対話的な学び	(35)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	81.9	84.9
深い学び	(37)授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う	71.3	82.5
個別最適な学び	(34)授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	76.6	83.4
協働的な学び	(39)授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	92.5	91.9
学びのアウトプット	(33)授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	73.4	77.8

この6つの項目は、鈴鹿市が学力向上を図る上で大切にしています。この結果から、友だちや周りの人の考えを大切にして、協力しながら課題に取り組むことはできています。しかし、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことや、授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、活かしたりすることに課題がみられます。これらの分析をもとに、授業改善に取り組んでいます。ご家庭でも、予習・復習などを通し、自ら得た課題について、自ら学んでいこうとする子どもたちの姿を、あたたかく応援していただきたいと思います。

国語では、自分の考えを書かせる学習（説明文：要旨をまとめる。物語文：好きな場面と理由を書く）に、重点的に取り組んでいます。

算数では、自分が考えたことや友だちの考えを、絵や図、式や文章で説明する学習を引き続き大切にしています。また、算数で学んだことと日常生活とのつながりも重視しています。

理科では、『課題を見つける⇒仮説を立てる⇒実験する⇒結果を検証する⇒さらに課題を見つける』というサイクルを通して、理科的な見方・考え方の楽しさを味わいながら、論理的思考力の育成をめざした授業を行っています。

【非認知能力に関すること】

肯定的回答割合を表示 (%)

	児童質問調査	自校	全国
やりぬく力	(16)分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	25.6	18.1
自制心	(42)学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	33.0	19.1
自己肯定感	(5)自分には、よいところがあると思う	20.2	13.0
社会性	(8)人が困っているときは、進んで助けている	8.5	6.3

「人が困っているときは、進んで助けている（社会性）」という児童は90%を超えています。しかし、「わからないことや、もっと詳しく知りたいと思ったときに自分で考え、工夫する（やりぬく力）」や、「自分にはよいところがあると思う（自己肯定感）」は全国平均より約7ポイント低くなっています。また「今、自分がすべきことを決めて取り組んでいる（自制心）」については、全国平均より約14ポイント低くなっています。

本校では、教職員全員で非認知能力の育成について研修を重ね、実践をしています。学級づくり・授業づくりにおいて、夢中で考えたいくなる課題設定や、友だちの考えをよく聴き、自分の考えを表現することを大切にしています。ぜひ、ご家庭や地域でも「今日、学校でどんなことがあった？どんな勉強をした？何をして遊んだ？」など子どもたちに話しかけていただき、「うんうん・・・。」と相槌をうちながら会話をしてください。さらに、子どもたちの自己肯定感が高まっていくと思います。

(例)「今日は、どんな漢字を習った？難しい字だね。」

「いっしょに九九をがんばって言ってみようか、競争ね！」

「(音読を聴いて) ああ、この言葉(文)の読み方が上手だったな。心に響いてきたよ。」

学校・家庭・地域が、ともに子どもたちを育てていけるよう、ご協力をお願いします。



【読書に関すること】

肯定的回答割合を表示 (%)

児童質問紙	自校	全国
(23)新聞を読んでいますか	15.9	22.0
(24)読書は好きですか	56.4	69.7



新聞などのように、文章と図やグラフなどのデータを照らし合わせながら、論理的に書かれた文章に毎日ふれることは、確かな読解力や思考力を育てるために有効です。

また読書をするすることで、世界が広がります。メディアコントロールに取り組み、家庭での時間の使い方を見直していただくことで、子どもたちの学力向上がめざせると考えています。ご協力をお願いします。

